



## 冬の感染予防

感染管理認定看護師 小林 明美

秋から冬にかけて気温と湿度が下がり、インフルエンザ流行の季節です。当院でも10月には、インフルエンザ陽性の患者さんが来院されました。尚、インフルエンザワクチン接種は、10月24日から開始しています。

また、毎年冬に流行し、乳幼児の重い肺炎の原因となるRSウイルス感染症が今年は、拡大傾向です。だれもが子どもの頃にひいたことのある冬の「かぜ」ですが、喘息のような苦しそうな咳と喘鳴(ぜいめい)が特徴で、治りにくいため長期にわたって症状が続きます。

インフルエンザもRSウイルスも、くしゃみなどの飛沫(しぶき)が口や鼻の粘膜などに入って感染します。くしゃみや咳が出る方はマスクを使用し、ご家族や他の方へ移さないようにしましょう。他の感染防止に有効な方法は、手洗いです。飛沫がついた物に触れた手で口や鼻にウイルスがついて感染する恐れがあります。特に外出後や食事前は、手洗いをしましょう。当院では、玄関や各科外来の受付、病室の洗面所に手指消毒剤を設置しています。ぜひ、ご利用下さい。

## もの忘れが気になる方、ご相談下さい。

認知症看護認定看護師 滝沢 なぎさ

認知症看護認定看護師は、認知症の予防や、認知症の発症から終末期まで、認知症に関する専門的な相談を受ける看護師です。現在日本では、65歳以上の高齢者の人口は全体の20%以上を占め、このうち認知症の方は高齢者全体の10%を占め、2015年には250万人、2025年には323万人に到達すると推計されています。

認知症は何かの原因によって脳の機能が障害され、記憶や判断力などの働きに障害がおこり、日常生活を送ることが難しくなります。認知症の症状としてよく知られているのはもの忘れですが、年をとると誰にでも起こるもの忘れと、認知症によるもの

忘れはちがいます。年によるもの忘れは、出来事の一部を忘れてしまうことです。例えば食事の後に、何を食べたか思い出せない状態であることに対して、認知症によるもの忘れは、出来事そのものを忘れてしまうため、食事をしたこと自体を忘れてしまいます。

認知症は、早期発見・早期治療が大切です。現在、認知症を治す薬はありませんが、進行を遅らせる薬は増えてきています。物忘れが気になる方、認知症の方への介護や対応で困っている方は、是非相談にお越しください。